

■ CentOS 5 手順書 補足

< OS インストール時のカーネルオプション指定について >

■ OS インストール時のカーネルオプション指定

マザーボード GIGABYTE EG41MFT-US2H を搭載のモデル（淡路坂モデル）では、CentOS インストール時、次のような問題が発生することが確認されています。

- ・ハードディスクの読み書き速度が遅くなる場合がある
- ・一部の USB ポートの動作が遅くなる場合がある

これらの問題は、以下の手順にしたがってカーネルにオプションを指定することにより回避可能です。



1. マシンの電源を入れ、CentOS 5.5 のインストール DVD を入れます。

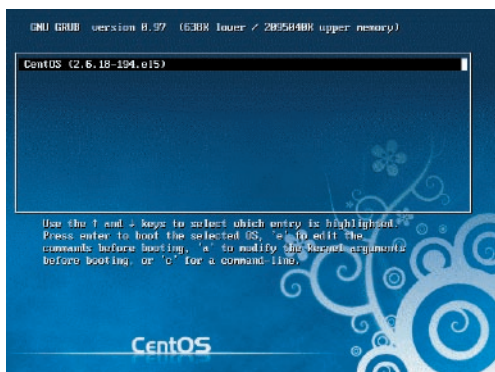
2. 左の画面が表示されます。



3. 表示された行の最後に続いて「linux all-generic-ide irqpoll」と入力し [Enter] キーを押します。

例：boot : linux all-generic-ide irqpoll

4. 手順書 P12 「CentOS 5 インストールガイド」手順 3 に戻って作業を行ってください。



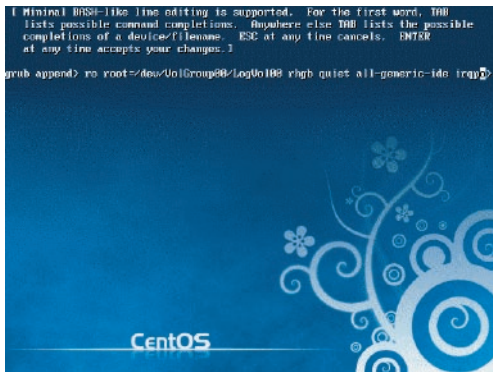
5. インストール完了後に [再起動] ボタンを押した後、左の画面が表示されるまで、スペースキーを押下したり離したりを数秒ごとに繰り返してください。

※もし左の画面が表示されず OS の起動が始まってしまった場合には、Ctrl + Alt + Delete キーを押して再起動し、再度同じ手順を実施してください。

※スペースキーを押さずにする方法では、うまく認識できない場合があります。

6. 起動したい kernel を選択して [A] キーを押します。

例：CentOS (2.6.18-194.el5)



7. 表示された行の最後にスペースを入力し、続けてカーネルオプションとして「all-generic-ide irqpoll」と入力し、[Enter] キーを押して OS を起動します。

例：grub append > ro root=/dev/VolGroup00/LogVol00 rhgb quiet
all-generic-ide irqpoll

左の画面では行の最後が表示されていませんが、そのような場合でもカーソルを移動させることでコマンドが確認できます。



8. ようこそ画面が表示されます。

手順書 P15 の手順 15 に戻り、作業を続けてください。